

心に残る文化財子ども塾 大田市立長久小学校

1. 活動の概要

6月7日（水）、大田市立長久小学校で、5年生 21人と6年生 19人を対象に『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、大田市教育委員会と島根県埋蔵文化財調査センター職員が、学校周辺の遺跡と埴輪について紹介しました。自分たちが良く知っている商業施設に遺跡があったことや、校長室に学校の近くで出土した本物の土器が展示されていたことを知った子ども達は驚いていました。

続いて5年生と6年生に分かれて体験活動を行いました。

5年生は図工室でミニチュア埴輪製作を行いました。ほとんどの児童が人物埴輪に挑戦していましたが、なかには馬形埴輪にチャレンジする児童もいました。皆さんそれぞれ、創造力を発揮し個性豊かな埴輪を作りあげていました。

6年生は奈良の大仏の実物大パネル組み立てと和同開珎作りを体験しました。古代出雲歴史博物館の学芸員から奈良の大仏の話聞き、作戦会議で役割分担を決めてから組み立てを開始しました。18人で協力して約12分でパネルが完成すると、子ども達から歓声があがりました。記念撮影をした後、1年生から5年生もパネルを見学し、みなさんその大きさに驚いた様子でした。

その後、理科室に移動し、3人一組に分かれて和同開珎作りを体験しました。カセットコンロで合金を溶かし、型に流し込む時には緊張した様子でしたが、型を開けて和同開珎の枝銭が現れると再び歓声があがりました。

体験活動を通して歴史への関心が高まった子ども達は、これまで知らなかった地元の文化財にも興味を持った様子でした。

2. 活動の様子

1) 古墳時代や奈良時代について学ぶ



「学校の近くにはこんな遺跡があります。」



「本物の土器にさわってもいいの？」

2) 古代体験活動～はにわ作り～



粘土を伸ばす作業からスタートです



見本を参考に作業を進めました

3) 古代体験活動～奈良の大仏パネル～



はじめに役割分担を決めました。



「そのパネルはこっちだよ」



1～5年生も大仏パネルを見学しました。

3) 古代体験活動～和同開珎作り～



カセットコンロで金属を溶かします。



鑄型を開けると…「やった！きれいに出来ている！」

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

【5年生】

- ・大田市の中に遺跡がいっぱいあることが分かった。しかも学校の近くにもあること。
- ・遺跡のことをもっと知りたい。自分も遺跡をみつけてみたい。
- ・世界に一つだけの自分の埴輪が作れたので楽しかった。
- ・埴輪作りは、思ったより手にくっついてとても難しかったです。
- ・人それぞれ個性であふれていたのが、作るのはもちろん友達作品をしてみるのも面白かったです。
- ・もっといろんな埴輪があると聞いたので、まだまだたくさん埴輪を見たいです。

【6年生】

- ・島根にはまだまだ遺跡があると思うので、もっと遺跡のことが知りたいです。
- ・自分の家の近くに遺跡があるので、遺跡についてもっと知りたいです。
- ・実際に遺跡に行ってみたいです。
- ・土器を触ったことが心に残った。
- ・大仏パネルをみんなで作ったことが心に残った。
- ・大仏パネルで自分が思っていたより意外に大きくてびっくりした。
- ・和同開珎作りで（金属を）溶かして型に入れるとき難しくて大変だった。
- ・和同開珎の始まりや、他にはどんな種類があるのかを知りたいです。
- ・たくさんの“はじめて”を体験できました。

② 担任の先生から

- ・子ども達の身の回りの遺跡について話してもらい、興味・関心を持って、聞くことができた。
- ・体験活動が良かった。
- ・映像資料等があるとさらに分かりやすい。
- ・子ども達の疑問に専門的な点から答えてくれるところや、子どもたちの興味に沿って進めてくれたところが良かった。
- ・実際に（遺跡を）見学できる時間があるとうれしい。古代出雲歴史博物館や古墳、遺跡などをまわる子ども塾バスツアーを計画してほしい。

③ 古代出雲歴史博物館から

子ども達は、学校や自分達の家近くに、授業で学習した古墳時代や奈良時代の遺跡がたくさんあることに驚いた様子でした。

また、体験活動を通じて、埴輪や奈良の大仏、和同開珎、そして地域の歴史へ興味を持ってもらうことができたのではないかと思います。

地元の遺跡や埴輪、大仏、昔のお金について、「もっとくわしく知りたい」という感想がたくさんありました。当日の時間の都合で説明しきれない内容も、後から調べることができるように、配布資料の工夫をしていきたいと思えます。

④ 埋蔵文化財調査センターから

埴輪づくりでは、事前に埴輪について学習してもらったので、みなさんより意欲を持って取り組んでもらえたようでした。みなさん順調に作業を進められたり、苦戦したりとそれぞれでしたが、終了時には個性豊かな埴輪が完成しましたね。6年生になったら社会科で埴輪のことを勉強されると思うので、その時には今日の事を思い出してほしいです。